

## 北海道ブロック戦略懇話会議事概要

日時：平成28年2月19日（金）13:00～15:00

場所：札幌グランドホテル 金枝の間

出席者：別紙のとおり

### 議事及び主な発言内容

- 事務局から規約の変更案を説明し案のとおり承認された。
- 規約に基づき座長を互選し、北海道経済連合会大内会長が座長に就任した。
- 事務局から、北海道ブロックにおける社会資本整備重点計画原案について説明の後、出席者から意見を伺った。主な意見は下記のとおり。

### <計画全般について>

- ・北海道は広域分散型社会を形成しており、その認識のもと、社会資本の集約・再編・有効利用を記載していることを評価する。
- ・北海道の社会インフラは本州よりも整備が遅れており、広大な地域におけるアクセス、冬の対策などに課題がある。
- ・新規投資については、維持更新経費が本格化する前に前倒しで実施する必要がある。
- ・北海道を元気にするには、食と観光、使い切っていない資源を活かすことが重要。また広い北海道を発展させるためには、中核都市を定め、都市機能を整備することが重要であるが、それらが記載されている。全体的によくまとまっており、わかりやすい。
- ・インフラの整備、維持管理の中期的な計画が広く示されることは、工事費用、調整コストの低減につながり、企業経営者の先行き不透明感を払拭し、設備投資につながるため、期待している。

### <定住交流環境の維持増進について>

- ・地域に密着した生活道路の充実と安定的な確保について切実な要望がある。病院、廃棄物処分場へのアクセス道路など地域を支える道路整備も必要。更新、修繕を含めた維持管理などにも配慮願いたい。
- ・移住推進のためには、流通、防災、医療の観点から道路整備が望まれる。
- ・情報ボックスの充実、民間への活用などに配慮してほしい。携帯電話の不感地帯の解消に役立つ。
- ・北海道全体で札幌を活用してもらうことで、道内各地域のもつポテンシャルを発揮し、底上げにつなげていきたいと考えている。

#### <農林水産業・食関連産業を支える社会基盤の整備について>

- ・農産物の輸送、生産資材の導入に大きな役割を果たす道路網の整備を早急に進めて欲しい。
- ・農業の生産基盤整備も重要。近年は気候の変化が極端であり、排水、かんがいについてもしっかりと取り組んで欲しい。
- ・社会資本の整備に当たり、道産木材を利用して欲しい。林業経営が安定し、CO2 対策にもなる。
- ・北海道の水産物の売りは新鮮、安全、安心である。そのためには確実に届くこと、漁港、道路、空港、港湾がつながる必要がある。
- ・生鮮食品の更なる移出促進に向けて、新千歳空港、旭川空港の物流機能の拡充が必要。

#### <観光の振興について>

- ・北海道は平成 30 年までに道産食品の輸出 1,000 億円、平成 32 年までに外国人観光客 300 万人の目標を掲げている。新千歳空港の外国人観光客の増加に対応した誘導路の整備等受入環境の整備、また函館空港の老朽化対策など空港の機能強化、船舶の大型化に対応した港湾の整備をお願いしたい。
- ・外国人観光客が増えており、多言語化対応、wifi 環境の整備が望まれている。
- ・魅力ある広域ツーリズムの実現に向けてインフラの整備が必要。
- ・人口減少が進む中、来てもらい、食べてもらうこと、観光に言及しており期待しているが、道東に施策が少ない印象がある。

#### <防災・バックアップ機能強化について>

- ・国土強靱化として、厚幌ダムなどの水害対策、土砂災害対策、根室港の高潮対策等防災対策の着実な推進をお願いしたい。
- ・津波対策として海岸線からの避難はきめ細かい対策が必要であり、開発局が中心となって検討して欲しい。
- ・最近の気象変動に起因する災害の問題がある。最近も牛乳の出荷がストップしている。物流の安定性確保について開発局にもお願いしたい。
- ・国全体のバックアップ機能強化のため、札幌市内の再開発事業による高機能オフィスの整備促進に取り組む。皆様の後押しをお願いしたい。
- ・BCP という観点から、物理的距離が問題とならない IT 分野、金融分野については本部機能の北海道移転が期待できる。日銀としても支援をしたい。

#### <交通ネットワーク・交通政策について>

- ・観光・産業・道民生活を支える基盤となる高規格幹線道路網の整備については、道外の供用率が 82%であるのに対し、北海道は 59%にとどまっている。継続区間の早期供用はも

とより、未着手区間の早期事業化をお願いする。

- ・高規格幹線道路については、昭和41年に定められた高速道路網計画がまだ完成していないので、しっかりと推進して欲しい。中でも一番必要なのは道東、足寄～陸別は冬の安全の面でも重要。道東の阿寒～釧路、七飯～大沼も、つながっていなければ役に立たない。是非進めて欲しい。
- ・北海道新幹線の札幌延伸については、札幌延伸あつての新幹線の効果が発揮する。前倒しとなるよう努力をしていただきたい。
- ・道北、道東、道南などのブロックに核となるものが必要であり、空港、道路、鉄道などが個別ではなく、総合的に検討していただきたい。
- ・鉄道網も重要な社会資本であり、これを排除して議論しては意味がない。この会議にもJR北海道の代表が参加すべきである。鉄道に配慮した検討をお願いする。
- ・鉄道、航空路も含めた北海道の総合的な高速交通ネットワークの検討がなされるべきである。交通政策は範疇外であることは理解するが、総合的な交通政策を無視して社会資本の整備は進められない。積極的に議論に関わるべきである。

#### <計画の目標・進め方について>

- ・北海道が考えている輸出一千億円、外国人観光客三百万人は大変重要な目標である。これが実現できるように考えていくことが重要である。
- ・目標の五年は計画上は、適当な期間であると思うが、長期的な視点も必要である。先への展望をもちつつ、近い未来を考えるべき。
- ・北海道の特性を生かした技術開発については、本学も積雪寒冷地の研究も進めており、協力できると考える。
- ・産学官民金連携の方針が新たな北海道総合開発計画に記載されている。この取組は本学の取組と一致しており、連携して進めていきたい。
- ・北海道開発に関して本学は協力してきており、今後とも協力していきたい。
- ・道路、港湾の整備でPPP、PFIを活用する場合、どんな事例があるか紹介してもらおうと取り組みやすい。
- ・金融機関では、PPP、PFI、公民連携に力を入れている。緩和的金融政策のもと、広く資金を調達する手法も有効であると考えている。

#### <計画の周知、進捗管理について>

- ・選択と集中ということでは、どういう選択をした結果、計画上に取り上げられているか、優先順位の説明があると分かりやすい。
- ・パブリックコメントをかけるとのことだが、注釈をつけたり、わかりやすい事業名、表現方法など配慮をしてほしい。
- ・PDCAサイクルに沿って進行管理を図ると記載されているが、しっかりと検証できる

体制を組んでいただきたい。

- ・着実な実施、効果的な推進が大切。進捗管理にあたり、道民の皆様に見えるように、また反映されるようにオープンな形で推進して欲しい。

#### <その他>

- ・道道、町道など全てのインフラに対して急速に進行する老朽化にどのように対処していくか、地域マネジメントという意味で重要な課題となっている。自治体への支援をお願いする。
- ・建設業の技能労働者が不足している。災害時には支障を来す事も懸念され、技能者の育成、確保を図っていただきたい。

○事務局から、今後のスケジュール等について説明し、了承された。

(文責：事務局)

## 北海道ブロック戦略懇話会出席者一覧

北海道知事 (代理 北海道副知事)	高橋 はるみ 山谷 吉宏)
札幌市長 (代理 札幌市副市長)	秋元 克広 町田 隆敏)
北海道市長会長(伊達市長) (代理 北海道市長会相談役(石狩市長))	菊谷 秀吉 田岡 克介)
北海道町村会長(白糠町長)	棚野 孝夫
北海道経済連合会会長	大内 全
一般社団法人北海道商工会議所連合会会頭	高向 巖
北海道経済同友会代表幹事	横内 龍三
北海道商工会連合会会長	荒尾 孝司
公益社団法人北海道観光振興機構会長	近藤 龍夫
日本銀行札幌支店長	杉本 芳浩
北海道農業協同組合中央会会長	飛田 稔章
北海道林業協会会長 (代理 北海道林業協会副会長)	阿部 徹 岡本 光昭)
一般社団法人北海道水産会代表理事会長 (代理 一般社団法人北海道水産会代表理事副会長)	川崎 一好 高橋 英明)
国立大学法人 北海道大学総長 (代理 国立大学法人 北海道大学副学長)	山口 佳三 三上 隆)
国立大学法人 小樽商科大学学長 (代理 国立大学法人 小樽商科大学副学長)	和田 健夫 近藤 公彦)
学校法人 北海学園理事長	森本 正夫
北海道総合通信局長	安井 哲也
北海道経済産業局長	秋庭 英人
国土地理院北海道地方測量部部長 (代理 国土地理院北海道地方測量部次長)	大塚 義則 岩田 昭雄)
北海道開発局長	本田 幸一
北海道運輸局長	川勝 敏弘
東京航空局長 (代理 東京航空局空港部次長)	加藤 敏 麻生 幸孝)
札幌管区气象台長	佐々木 喜一
第一管区海上保安本部長 (代理 第一管区海上保安本部交通部長)	坂野 公治 三宅 真二)